

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2006.1.15 呉市中央7-7-13 TEL21-2798

Email chinei63@ms6.megaegg.ne.jp

お正月は、おしゃかさまジャンボカルタ



今日したこと

- お話「嫌いなもの大切なもの」
(『仏教こども新聞』)
- ゲーム

○背中

去年の暮れ。長男(9才)いわく。
「ボクはお父さんみたいになりたくない。」
私はギョっとしました一ついに軽蔑されたか
一。恐る恐る聞いてみました。



しゅめ

「お父さんみたいになって、どんなお父さんみたいになりたくないの？」
長男は不満げに「だってお父さん、ふざけるじゃん。」
—ふざける?—

父「ふざけるってどういうこと？」

長男「ときどきフォーッってやるでしょう。」

テレビでお馴染みのHGというお笑い芸人のマネをして「日曜学校ふおーっ」とかやっていたのでし
た。でも、ちょっと安心しました。もっと内面的なシビアな指摘をされるのかと思っていたのです。し

かし、それだけではありませんでした。数日後、長男からまた、チェックがはいりました。「お父さんって、
いったいカメラを何台もっているの？」

長男の勉強机の横に、ビデオやフィルムカメラの一眼レ
フ、デジカメを入れている棚があるのです。

だんだん親が何をしているかを見るようになってきたん
だなあ、と感じました。



キャンドルナイト

話はかわりませんが、1月16日は「おたんや(親鸞聖人の
祥月命日)」です。安芸門徒は、お寺に参って聞法
し、「にごめ」という精進の郷土料理を食べて過ごすの

が慣わしです。普段は自分のことだけの日常ですが、この日は皆「他人や他の生命」のことも考え、お
精進ですごし、ちゃんと実践してきたのです。その意味をちゃんと教えて1食でも実践すると、**子供の
親を見る目がちがう**ように感じます。以前ご紹介したキャンドルナイトなんかも、実践する(日常生活
を変える)と、口には出しませんが見る目がちがいます。「レジ袋をもらわずにマイバッグ持参で買い
物をする」話をしたときにも「ボクのお母さんはやっている」と、実践している親をもつ子供たちはと
ても自慢げ(うれしそう)でした。**子供はちゃんと見ている**んですね。「お父さんや、お母さん、エ
ライっ!!」って。やっぱり教育は実践してみせないと(「やすりは身を削って相手を光らせる」という
らしい)、と感じました。どうぞ、実践して体験レポートをお聞かせくださいね。合掌

○スキーに行きま せんか?

今年も2/11(土)にスキーにいきます。みなさんもいっしょにいきませんか(別紙参
照)?今年で7回目になります。初心者もOK(インストラクター佐々木さんが同行・若院が
初心者)・小さな子連れでも安心(設備が整っています)です。詳しくは別紙をご覧ください。

この次は、**2月4日(土) 9時~** です。

その次は2月19日(日) 9時~です。

